

研究課題名	腰椎疾患に対する神経根ブロック療法の有用性ならびに費用対効果に関する検討
研究の意義・目的	腰椎の病気に対する神経根ブロック注射は、効果の高い治療として一般的広く行われています。しかし、どのような病気によく効くのか、何回行うのが適切なのかなど、まだ不明な点も多いです。本研究は日本脊椎脊髄病学会のプロジェクト研究として、神経根ブロック注射の有用性を検証する目的に立案されたものです。
研究を行う期間	2022年2月1日～2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	機関の長の実施許可日～2025年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院にて神経根ブロックを受けた患者様。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：なし 診療情報等：年齢、性別、身長、体重、罹患期間、手術適応の有無、診断、現病歴、既往歴、骨粗鬆症治療歴、手術歴、喫煙習慣、運動習慣、就労状況、身長、体重、日常生活動作、レントゲン所見、MRI所見、CT所見、アンケート結果、通院医療費、採血結果など
試料・情報の他機関への提供	この研究は北里大学整形外科へ頂いた情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	大阪大学医学部附属病院 海渡貴司 名古屋大学医学部附属病院 今釜史郎 山口大学医学部附属病院 今城靖明 北里大学病院 井上 玄 千葉大学医学部附属病院 折田純久 徳島大学病院 酒井紀典 北海道大学病院 高畑雅彦 大阪市立大学医学部附属病院 玉井孝司 秋田大学医学部附属病院 宮腰尚久 慶應義塾大学病院 八木 満 東京医科歯科大学医学部附属病院 吉井俊貴 滋賀医科大学医学部附属病院 森 幹士 国立長寿医療研究センター 若尾典充 新潟大学医歯学総合病院 渡邊 慶 大分大学医学部附属病院 宮崎正志 江南厚生病院 金村徳相 和歌山県立医科大学附属病院 長田圭司 浜松医科大学医学部附属病院 大和 雄
試料・情報を管理する責任者	一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会 理事・プロジェクト委員会担当 山田 宏
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

研究に協力を したくない 場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学教室 (担当者氏名) 玉井孝司 電話番号：(06) 6645-3851 メールアドレス： seikei@med.osaka-cu.ac.jp